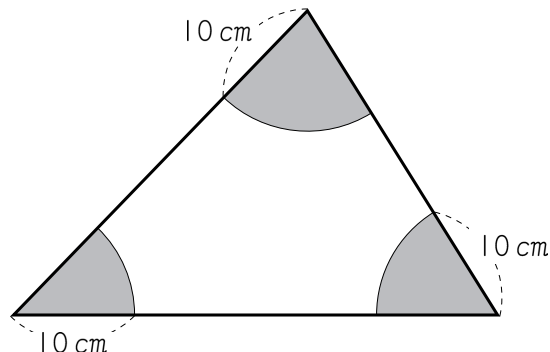
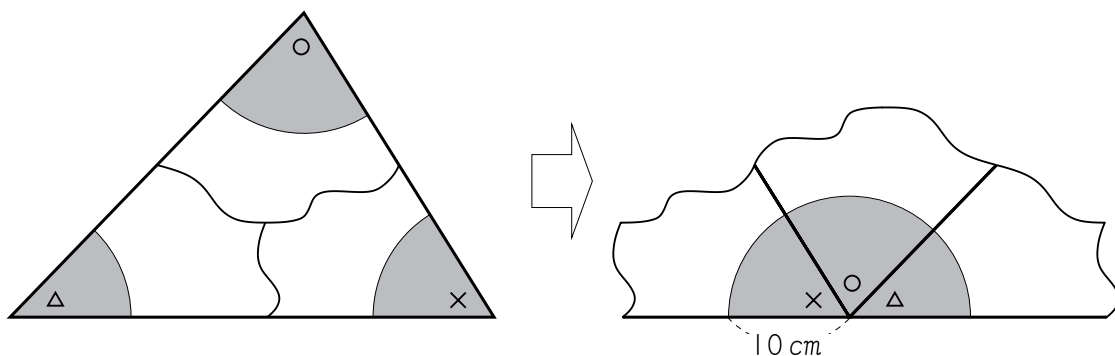


3

下の図のように、三角形の頂点^{ちやうてん}を中心に半径 10 cm の円の一部分をかいて、黒くぬります。



下の図のように、三角形を3つの部分に切って頂点であわせると、黒くぬった部分は、円の半分の図形になりました。



三角形の3つの角の大きさの和は 180° になるから、黒くぬった部分は、円の半分の図形になります。

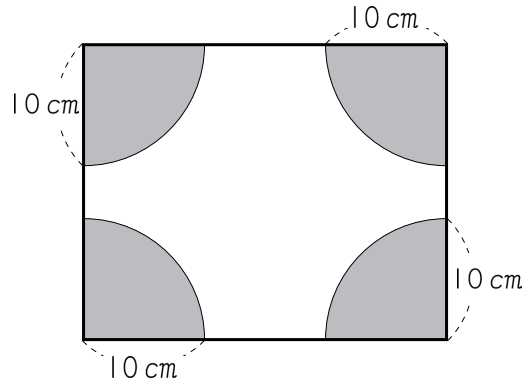
- (1) 三角形の3つの黒い部分をあわせた面積を求める式を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ただし、円周率は、 3.14 とします。

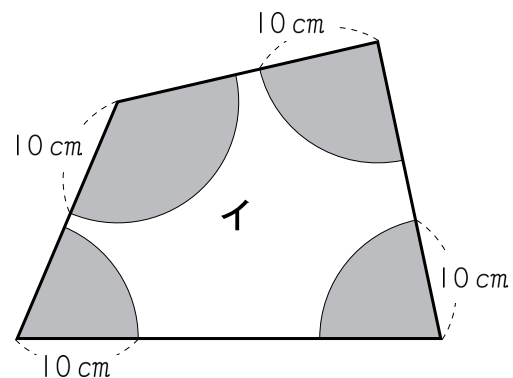
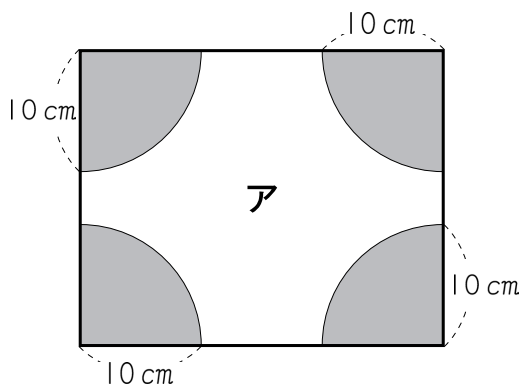
- 1** $10 \times 2 \times 3.14$
- 2** $10 \times 10 \times 3.14$
- 3** $10 \times 2 \times 3.14 \div 2$
- 4** $10 \times 10 \times 3.14 \div 2$

- (2) 次に、右の図のように、長方形の頂点を中心に半径 10 cm の円の一部分をかいて、黒くぬります。

長方形の4つの黒い部分をあわせた面積は、左のページの三角形の3つの黒い部分をあわせた面積の、何倍になりますか。答えを書きましょう。



- (3) 今度は、長方形アと四角形イについて、下の図のように、頂点を中心に半径 10 cm の円の一部分をかいて、黒くぬります。



長方形アの4つの黒い部分をあわせた面積と、四角形イの4つの黒い部分をあわせた面積を比べると、どのようなことが言えますか。下の **1** から **3** までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1** 4つの黒い部分をあわせた面積は、長方形アの方が大きい。
- 2** 4つの黒い部分をあわせた面積は、同じになる。
- 3** 4つの黒い部分をあわせた面積は、四角形イの方が大きい。